

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	一般財団法人電力中央研究所横須賀地区材料分析棟(仮称)	階数	地上2F
建設地	横須賀市長坂二丁目6番1号	構造	RC造
用途地域	工業専用地域,防火・準防火地域指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2015年12月8日
敷地面積	4,528 m ²	作成者	(株)三菱地所設計
建築面積	1,709 m ²	確認日	2015年12月8日
延床面積	3,500 m ²	確認者	(株)三菱地所設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE ≒ 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.6

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 外部からの水・光・外気の侵入、漏えい防止を施した強固な造り。 周辺環境へ配慮したデザイン。 		0
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> 重要度係数を1.5としている。 屋外ダクトはガルバリウムを採用。 耐震クラスSを採用。 平均階高を5.0mとしている。 実験室積載荷重(床用)は4900N/m² 	<ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮し大きな壁面いくつかの区切りを入れた圧迫感のない立面デザイン 周辺(隣接・近接)建物と色彩の統一(白色系・無彩色) 棟別標識の統一
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 自動水栓に加えて、節水型便器を採用。 躯体+軽鉄+仕上げ材のディテールを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 街作りへの適用に留意した外構照明計画を行った。 広告物照明を行っていない。 ライフサイクルCO2排出率=95%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される